

令和4年度 雀宮中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す生徒像含む）

【基本目標】 1 心豊かで、思いやりのある生徒の育成（情操）

2 主体的に学び、考え深い生徒の育成（創造）

3 からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）

【めざす生徒像】

思いやりのある生徒

主体的に学ぶ生徒

心身を鍛える生徒

【めざす教師像】

魅力と実践力のある教師

みがき合い高め合う教師

愛情豊かで寄り添える教師

【めざす学校像】

信頼される学校

学び合いともに伸びる学校

地域とともに歩む学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒のよりよい成長のためには、教職員がプラス思考で組織的に行動すること、及び教職員と保護者・地域住民とが連携を密にすることが重要である。そこで、地域と一体になった教育活動を展開しながら社会性や郷土愛を育むとともに、生徒及び教職員が、互いに学び合い高め合う集団を形成し、生徒が夢や希望に向かっていきいきと活動できる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）確かな学力の育成を図り、生徒が自信や志をもち、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。
- （2）豊かな心とたくましい体の育成を目指し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、人を思いやる心と人権を尊重する心の育成、及び健康で安全な学校生活の実現に努める。
- （3）信頼される学校・学び合いともに伸びる学校・地域とともに歩む学校を目指し、家庭や地域との連携・協力を深めながら、創意ある教育活動に努める。
- （4）教職員が互いに学び、高め合う協働的な同僚性の育成と専門的資質・能力の向上を図るとともに、業務改善の推進により勤務意欲の向上に努める。
- （5）○ 地域学校園としての「目指す生徒像」の共有を図り、小・中が連携して地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕

一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成

～ いきいきとした活動を通して ～

4 教育課程編成の方針

- （1）関係法令、栃木県教育振興基本計画 2025—教育ビジョンとちぎ—、第2次宇都宮市学校教育スタンダードや「令和4年度指導の重点」に基づき、地域の実態や生徒の発達段階、特性を考慮した特色ある教育活動を展開し、公教育の自覚のもとに、全教職員の理解と協力によって、本校の教育目標の実現を期す教育課程とする。
- （2）「人間尊重の精神」を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、各教科・道徳科・特別活動、総合的な学習の時間の相互の関連と調和を図る。
- （3）学習指導要領に基づいた各教科の目標・指導内容を明確にし、基礎的、基本的な内容の確実な定着と個に応じた適切な学習支援や習熟度別学習等の工夫を図り、個性の伸長と学力向上を目指す教育課程とする。
- （4）学習指導要領の趣旨に則り、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成し、すべての学習の基盤となる読解力や問題発見・解決能力及び現代的な諸課題に対応していくための資質・能力の育成を目指す。
- （5）地域に根ざした豊かな体験活動（地域交流活動、地域貢献活動、社会体験活動）を教育課程に位置づけ、地区内小学校及び高校との連携を図った社会性育成のプログラムとする。
- （6）生徒の体力向上及び心身の健康の保持増進に努め、心と体の健康に関する指導や食育をより充実する教育課程とする。
- （7）特別支援教育の主旨に基づき、合理的配慮を踏まえて、個に応じた指導体制の整備に努め、学校内外の関係機関やそれらの支援機能を生かした運用を図る。
- （8）地域学校園内の小中教員の交流を図るための連絡会議等を年間行事予定に位置づける。

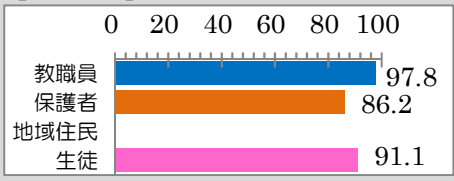
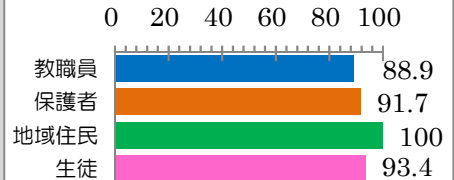
5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

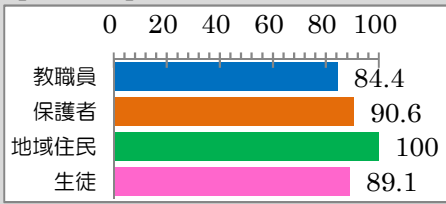
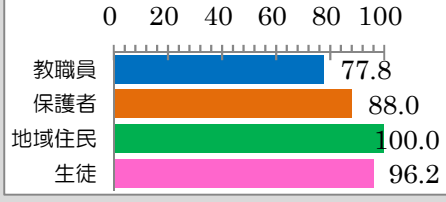
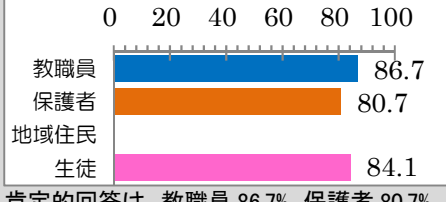
- (1) 学校運営 「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」
- ・業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保
 - 地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり
 - ・「新しい生活様式」の徹底と特色ある学校づくりを両立した学校運営の工夫
- (2) 学習指導 「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」
- 基礎・基本の確実な定着と、「わかる、できる」を実感させる授業の工夫・実践
 - ・ICTの計画的・効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善と「主体的に学習に取り組む態度」の育成
 - ・生徒に、各教科等の「見方・考え方」を働かせて思考・判断・表現等を促すための発問・学習形態の工夫
- (3) 生徒指導 「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」
- 温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成
 - ・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実
 - ・認め合い、励まし合い、助け合う温かみのある集団の形成と、耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実による、いじめ・不登校等の未然防止
 - ・「新しい生活様式」を意識して、感染防止のために主体的に判断し行動できる生徒の育成
- (4) 健康〈体力・保健・食・安全〉
- 「食と健康に対する関心を深め、体力の向上を目指す生徒の育成」
- 生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり
 - ・健康と食の安全確保のための指導の充実と、体力の向上を目指すための工夫を凝らした教育活動の推進

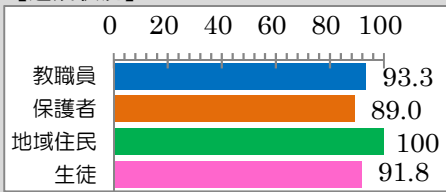
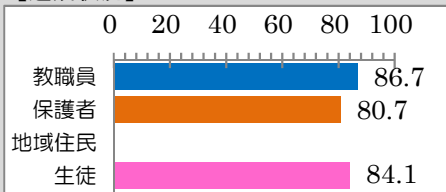
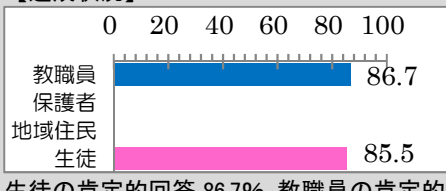
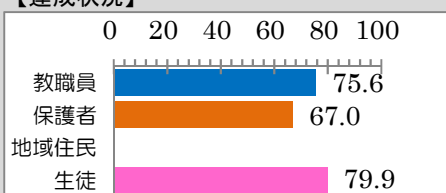
6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

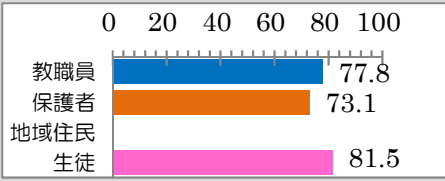
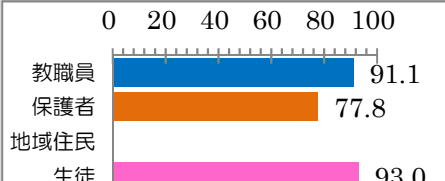
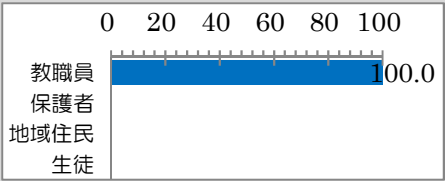
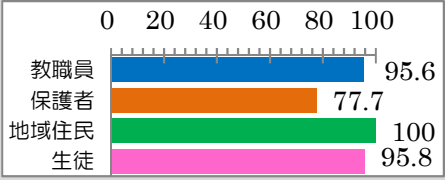
※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

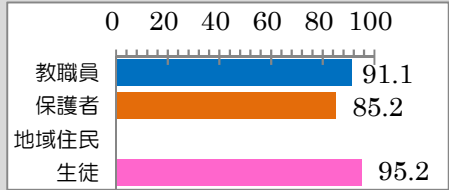
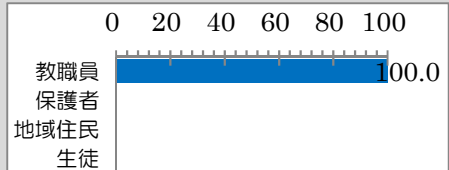
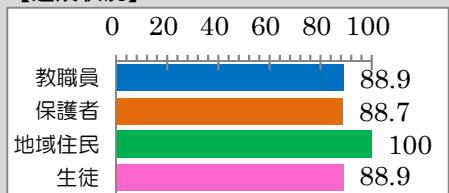
項目	評価項目	主な具体的な取組 ※網掛けは R04 に変更加筆した部分	方向性	評価
目指す生徒の姿	<p>A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」</p> <p>⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して本校の学力の実態を共有し、到達目標を設定し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。</p> <p>・教員同士で授業を公開し、生徒の学ぶ意欲をより効果的に引き出す授業形態や指導法を互いに探求し合い実践する。</p>	B	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、生徒 91.1%、教職員 97.8%で、ともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」を目指した学力向上をより組織的に図っていくため、本校の学力の実態を踏まえた到達目標を設定して教科部会を定期的に実施し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。また、教員同士で授業を公開し、生徒の学ぶ意欲をより効果的に高める環境や指導法を互いに探求し実践する。</p>
	<p>A2 生徒は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・道徳の授業を通して道徳的心情の醸成を促す。</p> <p>・思いやりをもった行動を賞賛する、生徒会による「サプライズ表彰」制度の充実を図り、思いやりの行動を促す。</p> <p>・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促す。</p>	B	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 88.9%、保護者 91.7%、地域住民 100%、生徒 93.4%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き道徳の授業を通して道徳的心情の醸</p>

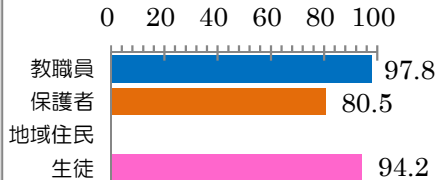
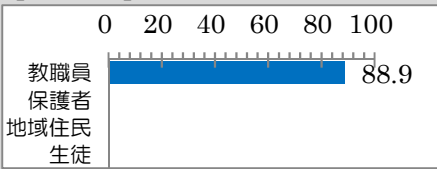
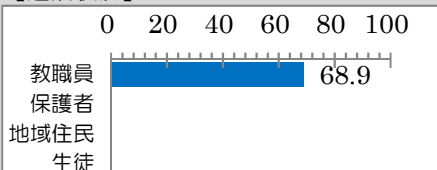
目指す生徒の姿	<p>A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、決まりやマナーを守って生活をしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「雀中ガイドブック」の周知徹底及びクロムブックで随時確認可能にすることにより、規律のある学校生活を送ることができるようにさせる。</p> <p>・「規範意識の高揚」を学校・学級経営の重点目標に掲げ、すべての教員が共通理解のもと取り組んでいく。</p>	<p>成を促す。</p> <p>・地域社会の中で模範となる生徒の行動を校内で紹介し、日常生活の中で、他を思いやる行動を促す。</p> <p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 84.4%, 保護者 90.6%, 地域住民 100%, 生徒 89.1%で、教職員のみわずかに数値指標を達成できなかったが、他は上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「生活に関するきまり」をクロムブックやHPでいつでも確認できるようにするなど、周知徹底のための工夫をし、規律ある学校生活を送ることができるようさせる。</p> <p>・生活委員会の生徒を中心として、決まりについて考えさせる。</p>
	<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・あいさつ運動や地区内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ、声かけ)の実施など、生徒主体の活動を継続する。</p> <p>・PTAや地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p> <p>・あいさつ運動の様子などを、各種通信やHPを通して、学校外へ周知していく。</p> <p>・マスクを着用している状況で、大きな声であいさつができない中でも、会釈をするなど、あいさつの重要性を意識させる。</p> <p>・あいさつの意義を考えさせるとともに、良い例を示し、褒めることで意識を高めていく。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 77.8%, 保護者 88.0%, 地域住民 100%, 生徒 96.2%で、教職員のみに下回り、生徒も0.9p下がった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・次年度は、あいさつ運動や地域学校園内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ、声かけ)の実施など、生徒主体の活動を実施する。</p> <p>・地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p> <p>・あいさつ運動の様子などを、各種通信やHPを通して、学校外へ周知していく。</p> <p>・マスクを着用している状況で、大きな声であいさつができない中でも、会釈をするなど、あいさつの重要性を意識させる。</p> <p>・あいさつの意義を考えさせるとともに、良い例を示し、褒めることで意識を高めていく。</p>
	<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒教職員、保護者、生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・全校体制で耐性(我慢する、あきらめない、くじけない)を育む指導の充実に取り組む。</p> <p>・生徒が自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できるよう、一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める。</p> <p>・ダイアリーに定期的に一人一人の良さを書いてあげることに努める。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 86.7%, 保護者 80.7%, 生徒 84.1%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒が自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できるように、教職員は生徒の自己肯定感や自己有用感を高める指導を工夫していきたい。</p>

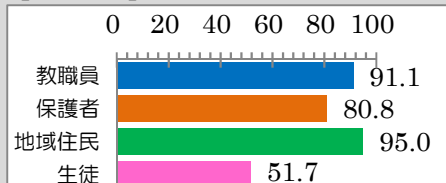
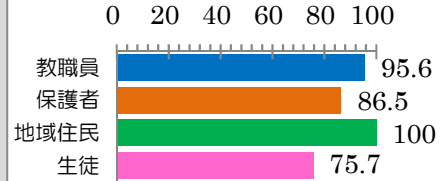
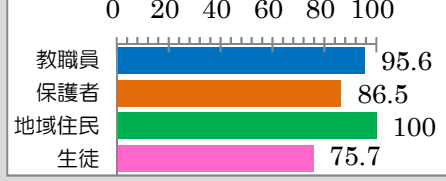
目 指 す 生 徒 の 姿	<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・生徒会保健体育委員が、衛生検査を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒会給食委員が、「咳エチケット・ランチマット調査」を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒が利用できるボールを昇降口に設置し、昼休みに校庭で運動できる環境を整え、運動を促す。</p> <p>・生徒会生活安全委員による、登下校時のマナーアップの呼びかけを行う。</p> <p>・生徒会少年消防クラブによる発表を通して防災・減災意識の高揚を図る。</p>	<p>・「耐性(あきらめない、くじけない、我慢する)」を育むための指導を学校教育活動の様々な場面で工夫・実践していく。</p> <p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 93.3%, 保護者 89.0%, 地域住民 100%, 生徒 91.8%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒会保健体育委員が、「衛生検査」を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒会給食委員が、「咳エチケット・ランチマット調査」を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒会生活安全委員が、通学路の危険箇所や危険行為を紹介し、登下校時のマナーアップを呼びかける。</p> <p>・生徒が利用できるボールを各クラスごとに設置し、昼休みに校庭で運動できる環境を整え、運動を促す。</p> <p>・新しい生活様式を考えた生活を送れるように意識を持たせる。</p>
	<p>A7 生徒は、夢や目標をもって社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私(生徒)は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒教職員、保護者、生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・今後も地域の関係団体や自治会との連携のもと、地域行事・地域活動へのボランティア参加を生徒に呼びかけ、地域の一員としての自覚を高める。</p> <p>・宮っ子チャレンジウィークを活用して、社会のためになることを積極的に行う態度や目標に向かって粘り強く取り組む態度を育む。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 86.7%, 保護者 80.7%, 生徒 84.1%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域ボランティア活動に生徒が積極的に参加し、地域の一員としての自覚を高められるように支援していく。</p>
	<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、英語の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・英語で行うことを基本とした英語科授業を実践する。また、基本的事項を活用した自己表現活動や即興の英会話活動を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の伸長を図る。</p> <p>・英語科の授業だけでなくその他の場面で、ALT との交流の機会を多く設定する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>生徒の肯定的回答 86.7%, 教職員の肯定的回答 85.5%で、ともに数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・英語の授業は英語で行うことを基本として実践を継続する。また、基本的事項を活用した自己表現活動や Teacher's Talk 時も含めた即興の英会話活動を積極的に取り入れ、感情も表現する等のコミュニケーション能力の伸長を図る。</p> <p>・英語の授業だけでなくその他の場面で、ALT との交流の機会を多く設定する。</p>
	<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・総合的な学習の時間の「宇都宮学」の年間指導計画の確実な実施と指導内容の充実を図る。</p> <p>・社会科の授業では、地域の古墳を教材として扱うなどして宇都宮の歴史への理解を深め、特別の教科「道徳」では、宇都宮への郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りを持てるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 75.6%, 保護者 67.0%, 生徒 79.9%で、すべて目標を達成できなかった。</p>

	<p>・食育での「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会についてなど、各種たよりやホームページ等での積極的な情報発信を図る。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>・総合的な学習の時間の「宇都宮学」の指導内容の充実を図り、発信、見える化を行う。</p> <p>・社会科の授業では、地域の古墳を教材として扱うなどして、宇都宮の歴史への理解を深め、特別の教科「道徳」では、郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りを持てるようにする。</p> <p>・給食での「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会についてなど、各種たよりやホームページ等での積極的な情報発信を図る。</p> <p>・教職員間で、宇都宮の魅力を話し合う機会を設ける。</p>																																							
目指す生徒の姿	<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・クロムブックやA I ドリルの積極的な活用を推進する。</p> <p>・A I ドリルの活用を「朝の学習」に位置づけ、継続的な活用を図る。</p> <p>・I C T支援員の協力を得て、クロムブック活用の技能向上を図る。</p> <p>・学校ホームページを通して I C T 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p> <p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table><tr><td></td><td>0</td><td>20</td><td>40</td><td>60</td><td>80</td><td>100</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="6"><div></div></td><td>95.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="6"><div></div></td><td>74.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="6"></td><td></td></tr><tr><td>生徒</td><td colspan="6"><div></div></td><td>79.9</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 95.6%、保護者 74.1%、生徒 79.9%で、保護者と生徒が数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・クロムブックやA I ドリルの積極的な活用を推進する。</p> <p>・A I ドリルの活用を「朝の学習」に位置づけ、継続的な活用を図る。</p> <p>・I C T支援員の協力を得て、クロムブック活用の技能向上を図る。</p> <p>・学校ホームページを通して I C T 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>		0	20	40	60	80	100	教職員	<div></div>						95.6	保護者	<div></div>						74.1	地域住民								生徒	<div></div>						79.9
	0	20	40	60	80	100																																			
教職員	<div></div>						95.6																																		
保護者	<div></div>						74.1																																		
地域住民																																									
生徒	<div></div>						79.9																																		
	<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・道徳科の授業を通して高齢者に対する感謝やいたわりの心の醸成を促す。</p> <p>・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促すとともに、高齢者との交流の場を計画的に設定する。</p> <p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table><tr><td></td><td>0</td><td>20</td><td>40</td><td>60</td><td>80</td><td>100</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="6"><div></div></td><td>88.9</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="6"><div></div></td><td>91.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="6"><div></div></td><td>100</td></tr><tr><td>生徒</td><td colspan="6"><div></div></td><td>93.4</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 88.9%、保護者 91.7%、地域住民 100%、生徒 93.4%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・道徳科の授業を通して高齢者に対する感謝やいたわりの心の醸成を促す。</p> <p>・地域ボランティア活動への参加や読み聞かせボランティアなど高齢者との交流の場を計画的に設定する。</p>		0	20	40	60	80	100	教職員	<div></div>						88.9	保護者	<div></div>						91.7	地域住民	<div></div>						100	生徒	<div></div>						93.4
	0	20	40	60	80	100																																			
教職員	<div></div>						88.9																																		
保護者	<div></div>						91.7																																		
地域住民	<div></div>						100																																		
生徒	<div></div>						93.4																																		
	<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・教職員自ら、持続可能な社会の理解について自己研修に努め、普段の生活に生かすよう努める。</p> <p>・特設コーナーを設置して、環境や人権に関するポスターを掲示するなどして、生徒の意識の高揚を図る。</p> <p>・古紙回収やプラスチックごみ分別の徹底を図るなど、生徒の実践力を高める。</p> <p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table><tr><td></td><td>0</td><td>20</td><td>40</td><td>60</td><td>80</td><td>100</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="6"><div></div></td><td>66.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="6"></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="6"></td><td></td></tr><tr><td>生徒</td><td colspan="6"><div></div></td><td>75.7</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 66.7%、生徒 75.7%で、どちらも数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・教職員は持続可能な社会について、理解を深め、研修等を通して、日頃からの様々な教育活動に生かせるように努力する。</p>		0	20	40	60	80	100	教職員	<div></div>						66.7	保護者								地域住民								生徒	<div></div>						75.7
	0	20	40	60	80	100																																			
教職員	<div></div>						66.7																																		
保護者																																									
地域住民																																									
生徒	<div></div>						75.7																																		

目 指 す 生 徒 の 姿	<p>B1 生徒は、自分の良いところを理解している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私には、良いところや頑張っていることがある」 ⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な視点で目を配り、生徒の良い言動を見取り称賛し、自己肯定感を高めさせる。 ・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。 ・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。 	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 77.8%、保護者 73.1%、生徒 81.5%で、教職員と保護者で数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多角的な視点で目を配り、生徒の良い言動を見取り、称賛し、自己肯定感を高めさせる。 ・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。 ・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。
	<p>B2 生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習ノートの効果的な活用を工夫し、授業の復讐を中心とした学習習慣の定着を図る。 ・能力に応じた学習目標の設定と実施内容の精査などについて、個別の支援を充実させる。 	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 91.1%、保護者 77.8%、生徒 93.0%で、保護者のみ数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習ノートの提出率については一定の成果を収められている。その日の授業の復讐を主眼とした今年度の取組を継続する。また、個々に応じた学習目標の設定と学習内容の精査などについて、自ら学ぶ力の育成を個別の支援として充実させる。
目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の特性や障がい把握し、教職員間で支援の方法など共通理解を図る。 ・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。 ・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携して支援する。 	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 100%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、情報を共有しながら学校全体で指導にあたる。 ・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携して支援する。
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや生徒指導だより、学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。 ・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。 ・いじめアンケートの実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。 ・SNSなどの使い方の注意点や、危険性について継続的に指導していく。 	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 95.6%、保護者 77.7%、地域住民 100%、生徒 95.8%で、保護者のみ数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや生徒指導だより、学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。 ・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう一人一人の生徒を大切に、生徒がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 ⇒教職員・生徒・保護者の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。</p> <p>・生徒の情報を早期に共有し、担任だけでなく複数の教員で支援する。</p> <p>・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する（教育相談部会の充実）。</p> <p>・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p> <p>・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。</p> <p>・耐性（あきらめない、くじけない、我慢する）を育む指導の充実に努める。</p>	<p>に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。</p> <p>・いじめアンケートの年4回の実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。</p> <p>・SNSなどの使い方の注意点や、危険性について継続的に指導していく。</p> <p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 91.1%、保護者 85.2%、生徒 95.2%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒の欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。</p> <p>・生徒の情報を職員同士で早期に共有し、担任だけでなく複数の教員で支援する。</p> <p>・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する（教育相談部会の充実）。</p> <p>・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p> <p>・耐性（あきらめない、くじけない、我慢する）を育む指導の充実に努める。</p> <p>・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。</p>
	<p>A16 教職員は、外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・外国人生徒の願いや実態把握に努める。</p> <p>・関係機関と連携しながら支援にあたる。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 100%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・現時点では外国人生徒は在籍していないが、必要に応じて今後も以下の取組を行う。</p> <p>・外国人生徒の願いや実態把握に努める。</p> <p>・関係機関と連携しながら支援にあたる。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒各対象者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・生徒を認め、励ます教育を推進して教職員と生徒の温かい人間関係、信頼関係を構築する。</p> <p>・実行委員会を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れ、達成感や充実感が味わえるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 88.9%、保護者 88.7%、地域住民 100%、生徒 88.9%で、地域住民を除き数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・長引くコロナ禍の中でも、互いを思いやる気持ち、主体的な学び、心身を鍛える生徒の育成に努める。</p> <p>・学校行事が変更される中でも実行委員会を中心とした生徒主体の活動を支援・工夫して行い、達成感や充実感が味わえるようにする。</p> <p>・コロナ禍の中でも、保護者に生徒の様子がわかるような活動や情報発信を行っていく。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、一人一公開授業や教科部会などの校内研修を実施しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善や、生徒に「見方・考え方」を働かせて課題に取り組ませるための発問・学習形態の工夫に取り組む。</p> <p>・学習目標の提示と振り返り活動の確実な実施を継続させ、生徒がわかったことを実感できる授業作りに努める。</p> <p>・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、AIドリルを活用したり、チームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努めたりするなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 97.8%、保護者 80.5%、生徒 94.2%で、すべて数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、一人一公開授業や教科部会などの校内研修を実施しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善や、生徒に「見方・考え方」を働かせて課題に取り組ませるための発問・学習形態の工夫に取り組む。</p> <p>・学習目標の明確な提示と振り返り活動の確実な実施を継続させ、生徒がわかったことを実感できる授業作りに努める。</p> <p>・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、AIドリルを活用したり、チームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努めたりするなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>
	<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・全教職員がそれぞれの専門性を生かしながらチームとして取り組み、学習指導や生徒指導の充実を図っていく。</p> <p>・スクールカウンセラー、メンタルサポーター、特別支援教育コーディネーター等が参加するケース会議を積極的に開催し、多様な専門性に基づく情報交換を行う。</p> <p>・習熟度別学習やチーム・ティーチングの積極的な実施、かがやきルーム指導員との連携強化により、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 88.9%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・全教職員がそれぞれの専門性を生かしながらチームとして取り組み、共通理解のもと、学習指導や生徒指導の充実を図っていく。</p> <p>・スクールカウンセラー、メンタルサポーター、特別支援教育コーディネーター等が参加するケース会議や職員研修を年間を通して積極的に開催し、多様な専門性に基づく情報交換を行う。</p> <p>・習熟度別学習やチーム・ティーチングの積極的な実施、かがやきルーム指導員との連携強化により、基礎学力の向上を図る。</p>
	<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・他校の事例を積極的に収集し、自校化を図る。</p> <p>・教職員の時間に関する意識改革やICTの活用による業務の効率化を図るなどして、「授業の改善を図るための時間」や「生徒と向き合うための時間」の確保に努める。</p>	<p>【達成状況】</p>  <p>肯定的回答は、教職員 68.9%で、数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き業務改善に対する職員の意識改革を図っていく。</p> <p>・具体的な効率化の事例や技術を職員に周知し、活用につなげる。</p> <p>・効率化の意見を出せる場を作っていく。</p> <p>・「授業の改善を図るための時間」や「生徒と向き合うための時間」の確保に努める為の具体的な方策を教職員間で出し合うための場を設定し、実践していく。</p>

目指す学校の姿	<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒各対象者の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・小中の交流活動を継続して行い、小中一貫教育・地域学校園の取組を強化していく。</p> <p>・学校園だよりや学校だより・学校HPを活用して、地域学校園の取組を保護者・地域住民に周知する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>91.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>95.0</td></tr><tr><td>生徒</td><td>51.7</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 91.1%、保護者 80.8%、地域住民 95.0%、生徒 51.7%で、生徒のみ数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・交流活動の減少に伴い参加する生徒が限られてしまい「小中一貫・地域学校園」としての取組を周知し理解させることが難しい。少ない活動で、参加生徒も少ないが活動していることを周知していく。</p> <p>・学校園だよりや学校だより・学校HPを活用して、地域学校園の取組を保護者・地域住民に周知する。</p>	対象者	達成率 (%)	教職員	91.1	保護者	80.8	地域住民	95.0	生徒	51.7	B
	対象者	達成率 (%)												
	教職員	91.1												
保護者	80.8													
地域住民	95.0													
生徒	51.7													
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・地域ボランティアやPTAと協力をして、地域の教育力を生かした活動を推進していく。</p> <p>・生徒が参加する地域ボランティア活動の在り方を工夫・改善していく。</p> <p>・キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に、継続的に活用する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>95.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>生徒</td><td>75.7</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 95.6%、保護者 86.5%、地域住民 100%、生徒 75.7%で、生徒のみ数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学校だよりや学校HPを活用して、学校支援ボランティアの活動を保護者、地域住民に周知する。</p> <p>・「働く人に学ぶ」など、地域の人材を有効に活用した教育活動を工夫・実践していく。</p>	対象者	達成率 (%)	教職員	95.6	保護者	86.5	地域住民	100	生徒	75.7	A	
対象者	達成率 (%)													
教職員	95.6													
保護者	86.5													
地域住民	100													
生徒	75.7													
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・地域ボランティアやPTAと協力をして、地域の教育力を生かした活動を推進していく。</p> <p>・生徒が参加する地域ボランティア活動の在り方を工夫・改善していく。</p> <p>・キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に、継続的に活用する。</p>	<p>【達成状況】</p>  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>95.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>生徒</td><td>75.7</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 95.6%、保護者 86.5%、地域住民 100%、生徒 75.7%で、生徒のみ数値指標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域ボランティアやPTAと協力をして、地域の教育力を生かした活動を推進していく。</p> <p>・生徒が参加する地域ボランティア活動の在り方を工夫・改善していく。</p> <p>・キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に、継続的に活用する。</p>	対象者	達成率 (%)	教職員	95.6	保護者	86.5	地域住民	100	生徒	75.7	B	
対象者	達成率 (%)													
教職員	95.6													
保護者	86.5													
地域住民	100													
生徒	75.7													

目指す 学校の 姿	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	・避難所開設時を含めた校内安全点検を確実に実施するとともに、市や地域関係者と連携して利用者の安全確保に努める。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>88.9</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>生徒</td><td>100</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 88.9%、保護者 90.8%、地域住民 100%で、すべて数値指標を上回った。 【次年度の方針】 ・今後も、避難所開設時を含めた校内安全点検を確実に実施するとともに、市や地域関係者と連携して利用者の安全確保に努める。</p>	教職員	88.9	保護者	90.8	地域住民	100	生徒	100
	教職員	88.9									
保護者	90.8										
地域住民	100										
生徒	100										
A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上	・クロムブックの積極的な活用を推進する。 ・ウェブによる情報の偏りを補正したり、情報を多面的に捉えたり情報リテラシーの向上を図るため、図書の利用を促す。 ・ソフトウェア研修を実施し、タブレット型パソコンの活用推進を図る。 ・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>95.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>74.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>79.9</td></tr><tr><td>生徒</td><td>79.9</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 95.6%、保護者 74.1%、生徒 79.9%で、保護者と生徒で数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・クロムブックの積極的な活用を推進する。 ・ウェブによる情報の偏りを補正したり、情報を多面的に捉えたり情報リテラシーの向上を図るため、図書の利用を促す。 ・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>	教職員	95.6	保護者	74.1	地域住民	79.9	生徒	79.9	
教職員	95.6										
保護者	74.1										
地域住民	79.9										
生徒	79.9										
本校の 特色・ 課題	B3 教師は、生徒の良さや頑張りを認め、ほめている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、生徒の良いところや頑張ったことをほめてくれる」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 85%以上	・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高めることができるよう、全校体制で取り組む。 ・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>96.0</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>96.0</td></tr><tr><td>生徒</td><td>96.0</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 100%、保護者 96.0%で、どちらも数値指標を上回った。 【次年度の方針】 ・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高められるよう全校体制で取り組む。 ・生徒を通じて情報を得る保護者に対しても学校の取り組みが伝わるような工夫をしていく。 ・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。</p>	教職員	100.0	保護者	96.0	地域住民	96.0	生徒	96.0
	教職員	100.0									
保護者	96.0										
地域住民	96.0										
生徒	96.0										
B4 生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。 【数値指標】 全体アンケート「私は、雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答 95%	・生徒主体の取組を展開し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。 ・本校の伝統を大切にしつつ、来年度からはそーらんの審査は廃止し、教職員・生徒に過度な負担がかからないよう配慮する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>97.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>98.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>生徒</td><td>98.0</td></tr></table> <p>肯定的回答は、教職員 97.8%、保護者 98.3%、地域住民 100%、生徒 98.0%で、すべて数値指標を上回った。 【次年度の方針】 ・今後も生徒主体の取組を実践し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。 ・行事ありきの生活を見直し、教職員・生徒の負担を減らし、持続可能な学校行事にしてい</p>	教職員	97.8	保護者	98.3	地域住民	100	生徒	98.0	
教職員	97.8										
保護者	98.3										
地域住民	100										
生徒	98.0										

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本年度の本校のアンケート調査に関しては、生徒回答は、昨年度比ですべての項目で下がっていた。コロナ禍3年目を迎え、学校生活における様々な制限等は緩和の傾向にはあるものの、行事や生活等での制限は多々あり、それらが影響していると考えられる。保護者の回答においても、回答率が6割を超えたのは成果と言えるが、生徒と同様に昨年度比で多くの項目で下がった。また、保護者の回答については、全市的にも下降傾向があり、現状に対する取組への評価として厳粛に受け止めたい。(本校と全市の保護者、共に14/18項目が下がった)

教職員についても、コロナ禍の影響に加え転入者数も多く、教職員の連携や共通理解の面で課題があったと考えられる。

本年度は、アンケート29項目中13項目で目標を達成することができなかった。以下に考察を記す。

目標を達成することができなかった項目 ※()内は、達成できなかった調査対象

A3:生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。(教職員)

A4:生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。(教職員)

【生徒指導に関する課題】

B2:生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。(保護者)

A25:学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。(保護者、生徒)

A9:生徒は、宇都宮の良さを知っている。(教職員、保護者、生徒)

【学習に関する課題】

A10:生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。(保護者、生徒)

A12:生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。(教職員、生徒)

A14:教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。(保護者)

A17:学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。(教職員、保護者、生徒)

【学校生活に関する課題】

A20:学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。(教職員)

【業務改善に関する課題】

B1:生徒は、自分の良いところを理解している。(教職員、保護者)

A21:学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。(生徒)

【・・・連携に関する課題】

A22:私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。(生徒)

【生徒指導に関する課題】・A3:きまり・マナーとA4:あいさつからは、生徒指導に関する課題がうかがえる。

現在の中学生は、全員が入学時からコロナ禍の制限下にあり、特にあいさつについては、本校の伝統を引き継ぐ機会がなかったことは否めない。それでも生徒や保護者、地域の方々からは肯定的な評価をいただいているのは、現在の生徒が積み上げた成果であり、それを認めていただきありがたい。しかし、達成できなかった教職員については、「現状に満足せずに、引き続き中学生のすばらしいあいさつや行動をめざして指導を進めて行きたい」という願いが根底にあり、アンケート結果はその表れと捉えていただければ幸いである。

今後については、誇りをもたせる指導や自習性から主体性へステップアップさせる指導やあいさつ運動をはじめとするあいさつに関する指導等の充実を図っていく。

【学習に関する課題】・B2、A10・25、A9、A12は、共通して学習に関する課題がうかがえる。

B2:家庭学習の習慣に関しては、自主学習ノートの提出率が良く、家庭学習を定着させる上では効果があつたと捉えられるが、昨年度比では生徒を含めすべての調査対象で下がっており、引き続き家庭と連携して個々に応じた学習目標の設定などにより、家庭学習の充実及び自ら学ぶ力の育成を図っていく。

A25・A10:ICT等の活用については、保護者と生徒で達成できなかった。授業でのICTの活用は進められているが、家庭学習では十分に活用されていない現状がうかがえる。今後もAIドリルの活用の工夫を含め、ICTの活用の充実を図っていく。

A9:「宇都宮学」とA12:「持続可能な社会」の指導の充実については、まずは教職員が研修を深め、身近な問題と関連させながら生徒の関心を高めてさせていきたい。

【学校生活に関する課題】・A14、A17からは、学校生活全体に関わる課題がうかがえる。

A14:いじめ防止に関しては、教職員と生徒が共に昨年度比でわずかに下がっているものの目標は達成できている。しかし、保護者について昨年度比では向上しているものの78%と目標を達成できなかった。学校や生徒の取組を発信していくと共に、いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動の充実を図っていく。更に、いじめアンケートによる早期発見・早期解消の徹底や、SNSなどの使い方についての指導を継続していく。

A17:学校の活気については、コロナ禍も3年が過ぎ、現状を打破したい気持ちがあかなか実践につながらない面もあることから、学校行事を含め、生徒の意欲や一人一人の個性が光る場の設定を工夫していきたい。

【業務改善に関する課題】・A20:業務改善について

本年度は先生方の休日の指導に関する業務を学年で割り振るなどの工夫を進めたが、まだまだ改善の余地があると言える。次年度は検討委員会を設置するなど、更に改善を目指していく。

【・・・連携に関する課題】・B1を除き、A21、22(23)は、連携に関する課題である。

「B1:生徒は、自分の良いところを理解している」をここに示したのは、詳しい分析(因子分析)により、「B1:自己肯定感・自己有用感」は、「A1:学習への取組」「A2:思いやり」「A3:きまりやマナー」「A4:あいさつ」といった生徒自分自身

に関する質問項目よりも、「A21:小中一貫の取組」「A22(23):地域連携教育の充実」という教育施策的な項目の影響を大きく受けていることが明らかになったからである。全国的にも「生徒の自己肯定感・自己有用感を高めることが課題」とされているが、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めるには、生徒を取り巻く学校や地域が連携して、生徒を活躍させる場を作ることがとても大切であることが分かった。本地域は、ボランティア活動がとても盛んであることから、今後も多くの生徒が参加できるよう、活動を精査しながら推進していきたい。

【昨年度比で向上した項目の評価について】※(+Op)は、昨年度と比較して上がった数値(%)

保護者

A9:生徒は宇都宮の良さを知っている。(＋6.9p)

A23:学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。(＋2.0p)

教職員

A9:生徒は宇都宮の良さを知っている。(＋10.0p)

A6:生徒は安全に気を付けて生活している。(＋5.8p)

A13:教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。(＋6.2p)

ほか

⇒A9については、総合的な学習において「宇都宮学」を実施している成果と言える。さらに充実を図っていく。

⇒A23については、コロナ禍による規制が昨年に比べ緩和が進んでいることも要因の一つであると考えられる。今後も状況等を踏まえながら対応を随時検討していく。

⇒A13については、教職員が本校の特別な支援を必要な生徒への対応について、個々に対して適切に且つ組織的に対応している様子を職員が評価した結果と考えられる。今後も限られた人的資源ではあるが、個々の成長のために工夫しながら指導にあたっていく。

7 学校関係者評価

【あいさつについて】

- ・学校でのあいさつは良くできていると思います。
- ・声を掛けると元気にあいさつしてくれます。
- ・地域でのあいさつは元気のない生徒もいるが、地域での協力による声掛けが大切であると思います。
- ・地域の私たちがどんどん声掛けをしていきたいです。
- ・コロナに入る前から少しずつあいさつは下降気味であった。先生方も元気よく指導してほしいです。
- ・マスク着用、ソーシャルディスタンスを唱えられていた昨今では仕方がないことだとは思いますが、地域でも雀宮中の生徒さんの元気なあいさつが聞けなくなったのはやはりさびしいという声を何度か耳にしました。地域の住民は、生徒みなさんの「元気なあいさつ」から「力」をもらっていました。
- ・あいさつとルールマナーについては、基本的で重要なことだと思う。雀中のよかったところでもあるので、指導をお願いしたいです。

【学習関係について】

- ・家庭学習が下がっているのは心配です。
- ・A9「宇都宮学」に期待しています。
- ・A21「小中一貫教育の充実」については、生徒にも折を見て取組を紹介すると良いと思います。

【生徒の様子】

- ・A5A7「夢や目標への努力」・B1「自己肯定感」など、宇都宮市が力を入れている項目の生徒回答の低下が大きい。コロナの影響もあったとのことだが、来年度以降注視していく必要があると思います。
- ・B1「自己肯定感」の数値が低いのが気になりました。特に日本の子ども達はこの点が諸外国に比べて低いようです。特にこの3年間は、閉鎖的な社会の情勢や、悲惨な戦争のニュースを日々目にしますと、人生に対して肯定感をもつのは難しいように思われます。生徒たちが自信をもって生きていく力を培って欲しいと願うばかりです。
- ・A14「いじめ対応」については、教職員及び生徒と、保護者の数値の違いが気になりました。保護者の方々が何かを感じていらっしゃるのでしょうか？気になります。
- ・自転車については、道路に広がったり、ノーヘルだったり、とても危険な乗り方をしている生徒がいる。大きな事故につながらないか、とても心配しています。

【学校・教職員】

- ・A19「職員全体がチーム」の項目の職員回答が下がっています。上記の率直な回答の結果と思うが、原因については検証したほうがよいと思われます
- ・教職員の評価の増減や、各評価に対する肯定的回答のばらつきがあることは、教職員が忖度せず率直に回答していると

思われ、問題ある項目が明確になるという利点としてとらえられ、肯定的に受け止めています。課題をしっかりとらえて改善につなげていただけると期待しています。

- ・ B3「認め誉めている」の評価が、教職員 100%、生徒も 96%と高い値で推移していることは評価できます。
- ・ コロナ禍で、国中が不安に振り回され、多くの活動が制限されている中で、雀宮中学校の諸先生方が生徒たちの教育に真摯に向き合っている姿勢を拝見し、地域住民としまして感謝に堪えません。

【その他全般】

- ・ 評価が下がったものについては、今後上げられるよう地域や学校、保護者が協力していくと良いと思います。
- ・ これまでのコロナ禍の状況を鑑みると、評価の上がり下がりには十分な判断材料になり得ないと感じています。あいさつにしても子供たちは自分なりに悩んだ上での、しりしなかったりの結果だったと思います。総合的な評価に示されたように、大人同士の連携を深めて、生徒の自己肯定感を育み自信をもたせることが先決だと考えます。
- ・ 社会的にも行事等が少なくなっていたが、感染予防対策を講じつつ、実施に向けて努力していただきたいと思います。
- ・ コロナに負けず、行事に取り組んでほしいです。
- ・ 評価にとらわれずに、子ども一人一人の個性を大切にしてほしいです。
- ・ 文部科学省や市教委のガイドライン次第の面もあると思うが、コロナ前に早く戻すよう努力するべきだと思います。
- ・ 地域に不審者出没や自転車盗難の報告が続いている。生徒のみなさんも気を付けて欲しい。直ぐに 110 番へ通報させてほしいです。
- ・ コロナの影響があり評価しづらい面もありますが、学校が荒れる時期が定期的にあった本校の歴史を振り返ると、A2A11「思いやりのこころ」・A3「きまりやマナーを守る」・A4「あいさつ」・A17「活気ある明るくいいきき」…これらの項目の数値が下がっていることが気になります。来年度、コロナの影響を払拭すると同時に、これらの項目をどのように上げていくのかについて、評価書内の【次年度に向けての方向性】に示された内容の取組に期待しています。
- ・ 地域住民の回答は、現実を評価できているとは思えず、地域住民が評価できる設問に変える必要があると思います。
- ・ 校長のお話から、児童生徒が地域に出て地域住民と関わることに、様々な利点があることを改めて確認できました。コロナ後には、コロナ以前に取り組んできた地域と連携した取り組みや事業を再開させ、関係する項目の肯定的回答がどのように推移するのか、期待を込めて楽しみにしています。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

今年度の学校評価においては、全市平均の傾向と同様に、下がった項目が 28 項目中 13 項目と、とても厳しい評価となった。学校関係者からは、コロナ禍でのこれまでの学校の取組に対する肯定的な評価や、ねぎらい・励ましの言葉を多数いただくと共に、今後の学校の取組への期待が寄せられた。

一方で、関係者との協議を通して、今回の評価からはコロナ禍も 3 年目が過ぎ、行事や体験活動など、昨年度及び今年度になって更に復活できたものが多々あるものの、失われた教育的価値の大きさが示されていることをうかがい知ることができた。更には、その背景に「緩和が進む社会情勢」や「教育的価値や成果への期待」と「生命・安全を最優先とする学校の現状」とのギャップがあることなども、改めて確認し合うことができた。

これらを受け、国全体の指導方針も今後更に緩和の方向で進むことを踏まえ、本校の令和 5 年度の重点目標を次のように定めることにする。

今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（１）学校運営 「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」

- ・ 業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保

○地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり

- ・ 特色ある学校づくりを行う学校運営の工夫

（２）学習指導 「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」

○基礎・基本の確実な定着と、「わかる、できる」を実感させる授業の工夫・実践

- ・ ICT の計画的・効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善と「主体的に学習に取り組む態度」の育成
- ・ 生徒が、各教科等の特質に応じて「見方・考え方」を働かせて能動的に思考・判断・表現等を促すための発問・学習形態の工夫

(3) 生徒指導 「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」

○温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成

- ・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実
- ・認め合い、励まし合い、助け合う温かみのある集団の形成と、耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実による、いじめ・不登校等の未然防止
- ・感謝の心を育む生徒の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

「食と健康に対する関心を深め、体力の向上を目指す生徒の育成」

○生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり

- ・健康と食の安全確保のための指導の充実と、体力の向上を目指すための工夫を凝らした教育活動の推進